

秋晴れに恵まれた昨年の11月1日から3日までの3日間、日高交流センターを会場として日高三世代文化祭が開催されました。会場



展示品に見入る来場者



生け花と小中学生たちの作品

には、地元の子どもから大人たちが作成した絵画、写真、書道、切り絵、木彫り、そして生け花などがところ

日高三世代文化祭

日高学区の芸術が集結しました



自慢の喉に聴きに入る皆さん

小さな輪 大きな輪 ひたか民話の会

聞いたことがある方もいるかも知れませんが、ひたか地区には民話がたくさんあります。朝ドラでも民話の一つである怪談が話題ですが、その民話を語り継ぐ「ひたか民話の会」があります。発足は昭和59年。先輩が地元の民話を古老から聞き取り、諸文献を参考にまとめ遺してくれたものを基に語り部として活動しています。



「ふるさと昔なし」33話やひたち・茨城の民話を広く知つてもらうために、主に小学校やお元気クラブ、介護施設などに出向いて語っています。地元の実際にある場所の話を地元の言葉で聞くのは、不思議で懐かしくそして楽しい体験。とても喜んで貰えるそうです。

メンバーは高齢化により現在5名。民話に興味のある方や地域を知りたい方は語らずとも、ちょっと昔なしの世界に浸つてみませんか。

活動するメンバーを募集しています。

連絡先
42-9023岩間まで
(菊池理可子)



園児たちのかわいい作品

狹いと展示され多くの人がその出来栄えを鑑賞していました。2日の日曜日午後にはカラオケ大会が2階の会議室で行われ、飛び入り参加者も含め日ごろ鍛えた喉を披露し、会場を大いに沸かせていました。

11月16日に開催された「ひたちシーサイドマラソン」に、当自治会から30名のメンバーが運営サポートとして参加しました。

当日は好天に恵まれ、沿いの爽やかなコースを舞台に、多くのランナーが力走しました。選手の走る息づかいや真剣な表情を間近に感じることができた位置で、声を掛け手を振り応援しました。選手も一生懸命に走りましたが、応援に応えてくれる姿が見られました。

自治会のメンバーは、コース誘導や交通整理などを分担し、大会運営に協力しました。選手の走る息づかいや真剣な表情を間近に感じることができた位置で、声を掛け手を振り応援しました。選手も一生懸命に走りましたが、応援に応えてくれる姿が見られました。

改めて感じた、「また上り坂を前にした選手へ『まだまだ行けるよ！笑顔で楽しくいこう』」、「もう少しがんばりましょう」、「ファイト！」など大きな声援を行いながら大会を盛り上げました。



沿道からの声援を受け、力走する選手

ある日立紅葉センターの広場にお越しください。



日高クラブ入口に咲くサザンカ

ゆりの木通りに面した「プロテリアル日高クラブ樂亭」の整然と刈り込まれたサザンカの生け垣は、一際きれいでした。

11月に入ると濃い緑色の葉にピンク色した山茶花（サザンカ）が咲き始めます。ピンク色の花が多いですが、薄いピンク色や白色の花も見かけることがあります。1本の花樹として、あるいは生け垣としてあちこちで目に入るはずです。花期は長く数か月続きます。

花言葉は「困難に打ち克つ」で、寒さが増してくる初冬でも色鮮やかに咲く姿に由来しています。童謡「さざんかさいたみちたきび」の歌詞（♪さざんかさざんかさいたみちたきび）に登場する花として、びかたりひらと花びらが落ちています。

11月に入ると濃い緑色の葉にピンク色した山茶花（サザンカ）が咲き始めます。ピンク色の花が多いですが、薄いピンク色や白色の花も見かけることがあります。1本の花樹として、あるいは生け垣としてあちこちで目に入るはずです。花期は長く数か月続きます。

花言葉は「困難に打ち克つ」で、寒さが増してくる初冬でも色鮮やかに咲く姿に由来しています。童謡「さざんかさいたみちたきび」の歌詞（♪さざんかさざんかさいたみちたきび）に登場する花として、びかたりひらと花びらが落ちています。

旬の花巡り
サザンカ

「ふくしのつどい」で表彰

地域福祉に貢献の野崎さん・宇佐美さん
民生委員児童委員功労者7名が受賞

11月11日、日立シビックセンター音楽ホールにて、
日立市社会福祉協議会主催の「ふくしのつどい」が開催され、市内23学区の福祉関係者が参加しました。



受賞おめでとうございます

民生委員・児童委員が改選されました

令和7年12月の民生委員一
児童委員の一斉改選で、口

令和7年12月の民生委員児童委員の一斉改選で、口高学区では39年に渡り民生委員を務められた樺村守さんが退任せられました。樺さんは在任中、地域の相談相手、助言者として福祉問題の解決に貢献してきました。平成29年度には、厚生労働大臣特別賞を受賞されています。長年の活動ご苦労様でした。

民生委員は、地域の皆さん
の生活上のお困りごとの
相談を受け、行政や専門機

佐藤 裕(42)
日高町1丁目1番
藤田博美(42)
日高町1丁目9番
5丁目9番
2821番
3326番
3 1 8 0 1
小木津町1丁目2番
宇佐美吉郎(42)
13番
4 2 6 4

木田金房	2丁目	28番
日高町2丁目	43番	48番
小木津町3丁目	1番	6番
小木津町松木下団地周辺	18番	番
皆川治子	(43)	4番
小木津町3丁目	19番	1番
矢部一良	(42)	31番
日高町2丁目	3番	3番
小野紀代美	5丁目	3番
日高町3丁目	4番	4番
小野初江	12番	5番
日高町3丁目	3番	6番
小木津町4丁目	0番	7番
小林修	1番	9番
(42)		

原田千代子	5丁目4番
(090)66561175	石井慶昭(43)
小木津町1丁目14番	小木津町2丁目7番
常磐線山側	小木津町旧番地
高畑仁子(42)	2731
小木津町4丁目10番	22344番
豊田賢一(42)	22344番
小木津町5丁目全部	20番
小木津町旧番地	11
常磐線海側	2942番
日高町3丁目30番	2942番
小泉安宏(42)	2942番
主任児童委員(学区全域)	2942番

支部役員の改選準備を

各支部・町内会では、令和8年度の支部役員（支部長、副支部長、常任委員、自治委員）の改選の準備を進めてください。

支部長は任期が2年となつていますが、支部内でよく協議して選出してください。その他の支部役員は任期が1年ですが、各町内とも高齢者などに配慮して決めているようです。

1月30日の市民自治会役員会で詳細の説明し、改めて新役員選出のお願いをします。現支部長には、2月末日までに、新役員の名簿をまとめ、市民自治会事務局まで届けていただきます。



国立科学博物館前にて

築地市場、浅草は人・人・人で一杯。さすがは東京と思わせる光景でした。

当日は、小春日和を思わせる好天に恵まれ、行き帰りのバスの中での懇親も深まり和気あいあいのムードで研修旅行を楽しました。

小川市長から表彰を受ける受賞者

日立市「ミニユース」活動 功労者4名が受賞

わら細工教室

新年に向けて心を込め

年末の21日に、市民自治会主催のわら細工教室が日

— 地元の小野俊郎さんから稲わらが、木田勝壽さんから稲はゆり葉が提供され、事務局がしめ飾り用のお飾り

を用意しました。

志賀会長のあいさつの後、参加者はさつそく2階会議室で作業を開始。経験の浅い人も上手な人の指導を受けて、1時間半ほどで皆それなりの形に仕上げました。

最後に完成品を手に全員で記念撮影。多少形が悪くても、自分で作ったしめ飾りで新年を迎えることに満足して会場を後にしました。

あの人 この人

日高町
遠田正樹さん
(51歳)



♪前向きに生きる♪

日立市役所に勤務しながら日高学区市民自治会「まつり部」幹事に所属する遠田さんは、何事にも積極的に関わる方です。「ひたちシーサイドマラソン」での4時間台の完走をはじめ、毎年の「おんもさ祭り」での神輿の担ぎ手等、率先して地元を盛り上げ、ぎわいを創出しています。助川学区で生まれた遠田

さんは10数年前に日高学区に居を構えました。勤務先での「みこしの会」の先輩に誘われて自治会活動に関わったとのことです。勤務された現在は「ひたか応援隊」を立ち上げ、20数名の会員とともに、学校を側面から援助しています。昨年の小学校の奉仕作業でもその一端を見ることができました。



わら細工作りに熱中

名が集ま
りました。
当日は
参加者28

茨城県小・中学校芸術祭 6名が優秀作品

郷土 ひたか (32)

横内地区の野仏群

日高幼稚園の北側、日高小学校から交流センターに向かう上り坂の左側の窪地（天道山の麓）に舟形を背にした六つのお地蔵様や、馬頭観音、立膝をした如意輪觀音などたちが仲良く並んで立っている。境内に住む古老にお話を伺うと、以前横内地区ではこのお地蔵さんたちを中心とした地域の婦人たちが、年数回、各家の持ち回りでお茶や料理を食べながらお話をされるお念佛（講）があり、女性たちの数少ない社交の場として楽しかったとのことである。また、現在は7月最終曜日の富士神社のお祭りの際には、地元の若者たちが、この周りの草刈りを行つているそうだ。

日高中学校	絵画・デザインの部	1年 岡 矢吹 航大
書写の部	3年 渡部 心春	5年 秋元 結葵
日中学校	絵画・デザインの部	1年 岡 矢吹 航大
書写の部	3年 石原 瑞波	3年 金澤 美空

永井ひたちの森病院・茨城県信用組合日高支店・宇佐美吉郎・有大高工務店・志賀勝弘・株茨城環境企業・齊藤金四郎・石堂徳明・工ス株・見城美智子・豊田清明・木田金房・三秀建設工業㈱・櫻木守・下平優・見城智恵子・矢部一良・㈲大森商店・海老沢清・岩間恵美子・志賀信夫・青木正・石井慶昭・小澤邦子・神永由美子・肥田順子・藤田博美・坪井善吉・鈴木規子

募金は、日立市内の地域福祉・ボランティア活動や、県内の福祉団体・施設、全国の被災地の災害支援に有効に活用されます。

ス polex 部 皆川武美

の？黒毛和牛味？ササミはどう？至れり尽くせり、まるで人間はお猫様のしもべのようだ。一家の主より大事にされている。膝の上に乗つて「にゃー」と鳴けば何をされても「あーかわいい！」すべて

る。4匹もいれば当然、ソファーがボロボロ、壁はバリバリ、カーテンもビリビリ。お猫様が「にゃー」と鳴けば、ご飯ですか？お水ですか？なでなですか？ご飯は、朝はニヤンスプーン、昼はカリカリ、夜はウェットフード。マグロ味がいい

と何年続くのか。お互に頑張ろう。でも、真夜中の運動会は止めてくれないかな。

猫

帳消し。

「かわいい、かわいい」と言い続けてはや5年。

おいて、今年の全国大会に参加したチームを44と記載しましたが、実際は64チームでした。ここにお詫びいたしますと共に訂正をさせていただきます。

お詫びと訂正

第227号の記事「日立球友クラブ全国初Vに」において、今年の全国大会に

あつという間に年が明け、間もなく節分、春の訪れです。まだ寒さ真つただ中ですが、道を歩くと蝶梅の香りや水仙のかわいらしい花が春を感じさせてくれます。広報の紙面から時事だけではなく季節も感じてもらえた嬉しさです。

編 集 後 記

また、春に向けて記事が何かの行動のキッカケとなることを願う次第です。（菊池理可子）